

洪水における工作物撤去判断水位

(荒川第一調整池内の施設を除く)

記載文

工作物の撤去は、高水敷が浸水する前に完了しなければならないことから、撤去に要する時間を見越して撤去を開始する。

工作物の撤去開始水位については、過去最大級である令和元年の台風19号の水位上昇の実績を基に定める。

ここで、高水敷が浸水する治水橋水位観測所の水位AP+7.8mを基準とし、当工作物の撤去に要する●時間を確保するための●時間前の治水橋の水位はAP+■mである。

このことから、当工作物の撤去開始水位を治水橋水位でAP+■mとする。

撤去時間 ●		治水橋水位 ■
撤去に要する時間 = 1時間	=	7.49m
= 2時間	=	7.01m
= 3時間	=	6.19m
= 4時間	=	5.31m
= 5時間	=	4.74m
= 6時間	=	4.41m
= 7時間	=	4.25m
= 8時間	=	4.17m

なお、治水橋の平常時水位が4.0m前後であるため、撤去に8時間以上を要する場合は、治水橋水位で判断するのではなく、台風の規模、通過コース、上流降雨量、予測降雨量などの随時注視し事前に撤去を開始する必要がある。